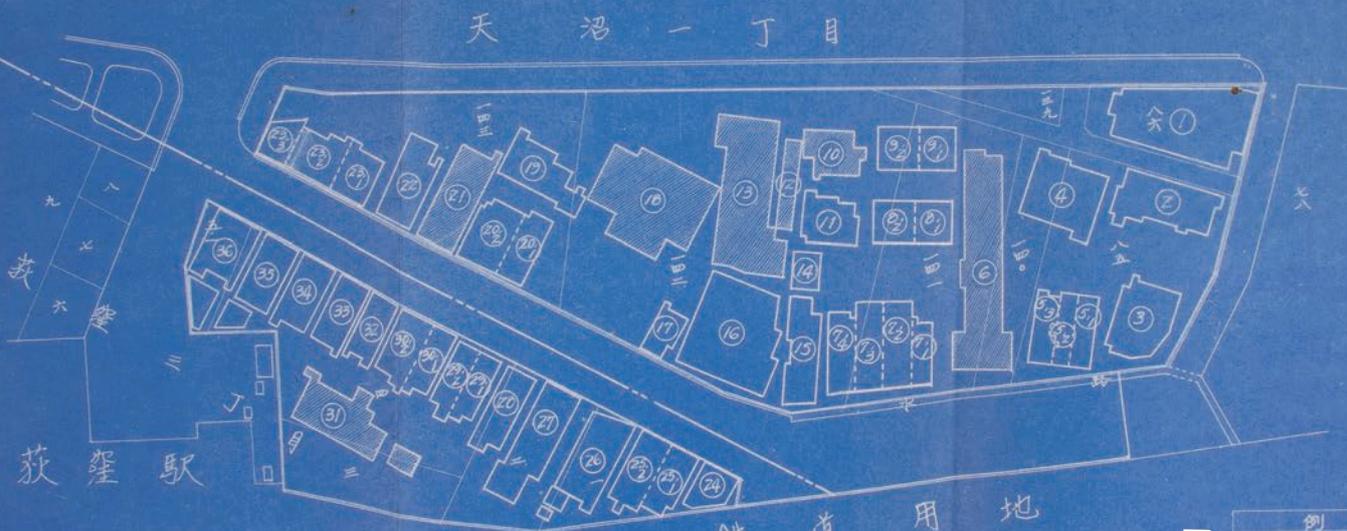


令和7年度分館企画展

中央線荻窪駅附近平面図  
縮尺1/5000



# ふたつの疎開

令和7年 6/14(土) ▶ 9/7(日)

学芸員による展示解説

7/26(土)、8/30(土)、9/6(土)

ワークショップ

戦争中の生活をのぞいてみよう 8/11(月祝)



上：荻窪の建物強制疎開予定図（昭和20年頃）、下：疎開先でヤギの乳しぼり（昭和19-20年・長野県）（現・杉並第二小学校の学童疎開）（昭和館提供）



令和7年(2025)は、終戦から80年の節目の年にあたります。「疎開」というと「学童疎開」がよく知られていますが、重要な建物を空襲から守るため、周りの建物を取り壊す「建物強制疎開」がありました。建物強制疎開は、戦争中だけではなく戦後の街並みに大きな影響を与えました。

本展では、初公開となる建物強制疎開関連文書などの資料を通じて、ふたつの疎開が、杉並の人々の暮らしや、杉並区にどのような影響を与えたかを紹介します。平和の大切さについて考えてみませんか。



長村白山荘 杉並第二学寮の食事の準備風景 (昭和19-20年・長野県) (現・杉並第二小学校の学童疎開)



建物強制疎開後の阿佐ヶ谷駅前 (昭和20年)



中佐都村正法寺の疎開児童 (昭和20年・長野県) (現・杉並第一小学校の学童疎開)



築館町佐々木旅館の疎開児童 (昭和19-20年・宮城県) (現・高井戸小学校の学童疎開)



ポスター「何がなんでもカボチャを作れ」(昭和19年)



【日時】 令和7年7月26日(土) 午後2時～2時30分  
8月30日(土) 午後2時～2時30分  
9月6日(土) 午後2時～2時30分

小学生向けの解説回です

予約不要

【場所】 郷土博物館分館 西棟2階 (直接展示室へお越しください)

## ワークショップ

自由研究にもおすすめ!

## 戦争中の生活をのぞいてみよう



学童疎開先で子どもたちはどのような生活を送っていたのでしょうか。学芸員の解説を聞き、実際に資料を見て、今の私たちの生活とどんなところが違うのか比べてみましょう。

【開催日】 令和7年8月11日(月・祝)

【時間】 ①午前9時30分～11時30分 ②午後2時～4時

【場所】 郷土博物館分館 東棟1階

【対象】 小学生 ※小学校2年生以下は保護者同伴

【定員】 各回10名 (申込み多数の場合は抽選)

【参加費】 無料

【申込方法】 右の申込みフォームよりお申込みください。または、往復はがきに「行事名、参加希望の時間帯、氏名(フリガナ)、学校名、学年、住所、電話番号」を記入し、郷土博物館分館へご送付ください。7月22日(火) 必着。1通につき1名。

要予約

申込みフォーム



【会場】 杉並区立郷土博物館分館 西棟2階展示室  
杉並区天沼3-23-1(天沼弁天池公園内) TEL. 03-5347-9801  
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/histmus/>

【開館時間】 午前9時～午後5時

【休館日】 毎週月曜日、毎月第3木曜日

※7月21日(月・祝)、8月11日(月・祝)は開館し、翌日休館

【観覧料】 無料

【交通案内】 JR中央線・東京メトロ丸ノ内線「荻窪」駅北口から徒歩10分  
※駐車場はありません。

